

## 平成30年度7月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 平成30年7月6日（金）午前11時00分～11時40分  
場所 市役所2階 第3委員会室  
出席 市政記者クラブ 10社

### 会見内容

#### 1. 話題提供（4項目）

##### 1. 平成31年度釧路市重要懸案事項に係る中央要請行動について

- 国の概算要求を控えまして、国や北海道の平成31年度予算の確保に向けた中央要請行動を札幌及び東京で実施いたします。
- 釧路市単独の要望として、7月11日（水）は、札幌におきまして北海道など、翌12日（木）は北海道開発局、北海道経済産業局などに要請を行います。  
また、7月19日（木曜日）には、東京におきまして、釧路地方総合開発促進期成会と共に、国会議員をはじめ、国土交通省、環境省、農林水産省などへ要請を行う予定です。
- 今回の中央要請行動では、釧路市として27項目の重要懸案事項について要望する予定であり、このうち新規要望3項目につきまして、ご説明を申し上げます。
- 1点目は、「河川等の整備促進」でございます。  
大楽毛海岸において海岸浸食及び海岸段丘崩壊が生じておりますことから、これを防止する海岸保全事業（消波堤・離岸堤の整備）の実施を北海道に対して要望いたします。
- 2点目は、「林業の振興」でございます。  
国や北海道に対し、森林環境譲与税を財源として、市町村が所有者に代わり森林整備を行う「新たな森林管理システム」の実施に向け、自治体や事業体の体制整備に対する支援を要望いたします。
- 3点目は、「地震・津波等の災害に強いまちづくりの推進」でございます。  
阿寒川において洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、被害の軽減を図るため、北海道に対し、同河川の「水位周知河川」への早期指定について要望いたします。
- 以上、新規項目を含め、釧路市の重要懸案事項につきまして、道や国の予算の確保が図られるよう、しっかりと要請してまいります。

##### 2. 観光立国ショーケース3都市首長サミット in 釧路の開催について

- 平成28年1月に、観光立国ショーケースに選定された釧路市・金沢市・長崎市では、2020年における「訪日外国人延べ宿泊客数」等を目標値に設定し、インバウンドを受け入れる取り組みとして「日本版DMO」、「ストレスフリーの環境整備」、「観光資源の磨上げ」、「海外への情報発信」の4つを柱に、さまざまな取り組みを進めているところです。

本会議は、これら3都市が取り組んでいる観光戦略事例の報告の場として、3回目となる「観光立国ショーケース3都市首長サミット」を7月25日（水）に釧路プリンスホテルにて開催いたします。

- サミットでは、国の観光施策に深く携わるとともに、当市の政策アドバイザーでもある石井 至（いしい いたる）氏による「地域が稼ぐ仕組みづくり」をテーマとした基調講演や、私と金沢市長、長崎市長によるパネルディスカッションなどを予定しております。
- サミット終了後には交流会を予定しており、アイヌ文化に触れていただくためのアトラクションなども行い、また、釧路をより深くご理解いただけるよう、釧路をはじめとする地域の食材をメインとした料理を提供いたしたいと考えております。

### 3. 釧路－関西便（ピーチ）の新規就航セレモニーについて

- 8月1日（水）より運航が開始となります、ピーチアビエーションによる釧路－関西便の初便到着に合わせて、新規就航セレモニーを開催いたします。
- セレモニーには、ピーチアビエーション井上CEOにご出席をいただくほか、北海道航空局長をはじめ、ひがし北海道地域の首長が歓迎の意を表し、米沢帯広市長・辻北見市長・水谷網走市長・山下大空町長・宮川中標津副町長、そして私が出席いたします。  
当日は、関西空港から初便に搭乗されたお客様に、周辺市町村の記念品などを配布いたします。
- 釧路から関西に飛び立つ初便には、セレモニーに参加されたひがし北海道関係自治体首長が搭乗し、大阪のピーチアビエーション本社等へ訪問し、新規就航の御礼と今後のさらなる路線展開の要請をまいります。
- なお、ピーチの国内線や飲食店などで配布されているピーチのフリーマガジン「ピーチライブ」7月号（7月20日発行）では、釧路特集として、釧路・阿寒地域のオススメスポットなどが掲載されますので、釧路－関西便を利用される皆様にひがし北海道に訪れていただく、きっかけとなるものと期待しております。
- 関西国際空港は、国内、海外さまざまな路線が運航しておりますので、釧路地域の皆様にもピーチをご利用いただき、関西圏をはじめさまざまな地域への旅を楽しんでいただきたいと思います。

### 4. 東京オリンピック・パラリンピック大会に向けたホストタウンとしての取り組み状況について

- この度、ベトナムの政府機関である文化スポーツ観光省スポーツ総局並びに在ベトナム日本国大使館から、釧路市に直接打診があり、「第15回VTV（ブイティープイ）カップ国際女子バレーボールトーナメント大会」に対して北海道教育大学釧路校女子バレーボール部を派遣することが決定しました。  
このことは、ホストタウンの登録を契機として、これまで進めてきた交流に、ベ

トナム国から一定の評価があったものと考えているところでございます。

なお、派遣期間は8月1日から14日の予定となっております。

- この大会は、中国、タイ、インドネシア、韓国などアジアのさまざまな国や、ベトナムU（アンダー）18代表チームなどの参加により、アジアバレーボール連盟の公式大会として、ベトナム各地で開催されているものであり、本年もアジア各国のチームを迎え、ベトナムのハティン市スポーツセンターで開催される予定となっております。

- 北海道教育大学釧路校においては、「日本語パートナーズ」事業による、本年3月のベトナム・バリア=ブントウ省への派遣に続くものであります。

このように同校においては、積極的な交流がなされており、今後の取り組みに資する人材育成の観点で、大きなメリットがあるとともに、交流事業のさらなる広がり

## 2. その他(1項目)

### 1. 日本・カナダアイスホッケー国際交流 ジェイ・シー・アイ・エイチ J C I H 2018の実施について

- 7月13日（金）から18日（水）にかけて、釧路市と姉妹都市であるバーナビー市をはじめとした、日系カナダ人高校生アイスホッケーチームが来釧し、アイスホッケーを通じて同世代の選手と交流を行います。

- 日系カナダ人高校生アイスホッケーチーム J C I H（ジェイシーアイエイチ）は、2000年（平成12年）に、釧路市において、日本のアイスホッケー強化を目的として行われた日本アイスホッケー連盟主催の大会への招待を受けて設立され、以降、日本において隔年で行なわれた試合やトレーニングキャンプに参加する際に、釧路市にも訪れており、今回で10回目の交流となります。

- 2008年（平成20年）に、元バーナビーアイスホッケーチームコーチであり、現在は特定非営利活動法人東北北海道スポーツコミッション代表の中島仁実（なかじま ひとみ）氏が、アイスホッケーを通じた国際交流として、このチームを釧路市に招き、地元高校生チームとの試合を行うに際し、姉妹都市であるバーナビーの市長より親書をいただいたことから、市では姉妹都市交流の一環として受け入れへの協力を行っております。

- この事業は、2016（平成28年）より、NPO法人東北北海道スポーツコミッションが主催となり、スポーツを通じた交流・地域振興として、地元の高中生アイスホッケーチーム（武修館高等学校）と親善試合を行います。

試合は、7月13日（金）、14日（土）、16日（月・祝）に日本製紙アイスアリーナで行われ、いずれも入場無料となっておりますので、多くの市民の皆さんに観戦いただければと思います。

- 滞在期間中は、親善試合はもちろんのこと、釧路市表敬訪問や、学校訪問、ホームステイ、長靴アイスホッケーの体験などを通じて、日本、釧路の文化や歴史への理解を深めてもらい、英語を通じた若い世代との交流を行う予定です。

- 選手、スタッフ、ご家族総勢36名の皆さんが、約1週間にわたりスポーツ、文化交流など様々な体験を通じ市民の皆さんと交友を深めます。  
今回もよりよい交流にしていきたいと考えております。

### 3. 質疑要旨

(質問)

- ・ ピーチ就航への期待をお聞かせ願います。

(市長)

- ・ LCCがひがし北海道エリアの中で初めて就航するのが釧路ということで、大変喜ばしいことだと思っています。

あわせて、航空自由化というなかでのビジネスの観点において、ひがし北海道の可能性が非常に高いということの証しでありますし、この観点の中から釧路空港の利活用ということ、選定されたということは、非常に自信を持っていいことだと思えます。

今、観光立国ショーケースをはじめ、さまざまなことに取り組んでいるところで、こういった一つ一つの積み重ねが、評価につながっていると考えており、自信をもって2020年の目標に向けて取り組んでいきたいと思っています。

(質問)

- ・ 季節運航便の伊丹線の搭乗率の状況があまりよろしくない聞いておりますが。

(市長)

- ・ 客層の違いだと思っています。

伊丹線は、全日空が伊丹－釧路線、日本航空が伊丹－女満別線を運航しています。搭乗率が若干釧路の方が低いということがありますので、伊丹－釧路線のPRを伊丹空港や大阪市内で展開を進めてきています。そういったことをしっかりと取り組んでいながら、LCCの客層の違いも踏まえながら、あわせてPRを行っていききたいと思えます。

(質問)

- ・ 初便で管内首長とともにピーチ本社等に行くと思いますが、その他何か要望とかは考えていますか。

(観光開発主幹)

- ・ 翌日に中標津の観光協会の方々50人ほどで関西空港でPR等を行います。

(市長)

- ・ ピーチはインターネットを中心として航空券を販売していますので、今までのように旅行代理店でのPRだけではなく、情報発信の方法を考えていきたいと思えます。

(質問)

- ・ 林業大学校を新設するにあたって、北海道では旭川を拠点とする方針を示したわけですが、このことに対しての受け止めをお願いします。

(市長)

- ・ 釧路・根室管内では、中標津町が林業大学校を誘致するというので、いち早

く声をあげて、管内町村会をはじめ事業者を含めて進めていこうということで、北海道への要請項目に組み入れました。

私たちは、この釧路・根室管内の中で、特徴のある森林を守っていくため、北海道の方針や中標津町の方針を聞きながら、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

(質問)

- ・ 市立釧路総合病院の件に関して、提訴の時期と今の状況についてお聞きしたい。

(市立釧路総合病院新棟建設推進室長)

- ・ 釧路市議会6月定例会で、議決をいただいて、準備をしています。議会等で事実関係について説明していますが、現在はさらに細かいやりとりの証拠などを集めるなどの作業をしているところです。

時期については、いつとは言えませんが、7月とか8月を目指して作業を進めています。

(質問)

- ・ 市政懇談会で市立釧路総合病院の説明をし、質問も少なからず出ていたようですが、その感想をお聞かせください。

(市長)

- ・ 市立釧路総合病院の新棟建設の延期について、私から説明させていただきましたが、質問は3回程度あり、一定の理解をしていただいたものと思います。

(質問)

- ・ 提訴の準備を進めながら、次の新たな病院の計画を並行して進めるということですが、具体的にはどのような形で進めていくのですか。

(市長)

- ・ 市立釧路総合病院の高平院長をはじめ先生方としっかりと話をしていきながら、スタートさせていきたいと考えています。

まだスケジュールは決まっていますが、調整して早い段階で進めていきたいと思っています。

(質問)

- ・ 9月着工予定をしていた建設の関係で、公共工事が滞ってしまうということで、一部事業の前倒しなどがありました。

想定していた過疎債は何かに充てるという話になると思いますが、聞いているところでは、繰上償還しなくてはいけないと聞いています。事務的な国とのやりとりがあると思いますが、いつまでにいくら返さなくてはいけないとか、現状としてはどのようになっていますか。

(市立釧路総合病院新棟建設推進室長)

- ・ 現在、財務事務所と調整している最中で、いつまでなどは決まっています。その指示を待っているところです。

(市長)

- ・ 過疎債の枠ということですが、市立釧路総合病院の分がそのまま残るという形ではなく、過疎債は全国の中でどういう形で活用していくのかと、単年単年進めていくものです。

財政の対応で後年次の実施と調整していたものを前倒ししながら、過疎債の活用

など今後はどのように進めていこうなど調整しています。

(質問)

- ・ 市立釧路総合病院のことにつきましては、市長は自分の責任と言っていますが、結果責任のはたし方をどう考えているのでしょうか。

(市長)

- ・ 基本的に行政は私の責任のもとで行っているものですので、そういう意味での結果責任だと思っています。

今回延期せざるを得ないとなったことの延期の責任もありますし、契約を解除するという責任もあります。

そういった意味で、私の責任の下で進めていくという考え方でございます。

結果責任というのは必ずついて回ります。例えば罪があったかどうか、つまり処分に値するものをどう考えるのかということです。

故意なのかもしれないし、重大な過失だったのか、故にそこが大きなポイントになってくると思っています。

市立釧路総合病院として契約行為で進めてきたものの、3月の段階まで、その契約をしっかりと成し遂げていこうと進めていく中で、期限までに間に合うという返答をいただいていたものが、3月中旬に急遽間に合わないとなり、そこを確認していくために、何度も依頼してきました。行政側としては一生懸命業務を果たそうと努力してきました。

そういった意味で責任は全て私にあり、その上で今後しっかりと対応していきながら、責任を果たしていくという言い方をさせていただいています。